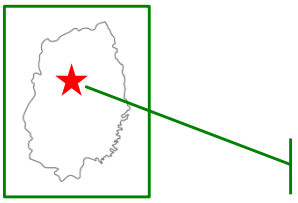
岩手県農業研究センター（岩手県盛岡市）

R4補正 R5当初 60

背景・課題

岩手県オリジナル水稲品種「銀河のしずく」は、地域の他の慣行栽培品種と比較して割れ籾が発生しにくい特性がある。この特性を生かして、斑点米の原因となるカメムシ類を対象とした殺虫剤による防除の低減について検証する。



目指すグリーンな栽培体系

○カメムシ類を対象とした殺虫剤散布回数を２回から１回に減らす。
○殺虫剤散布回数を減らしても、高品質米が広域的かつ安定的に生産できる。

構　成　員

岩手県農業研究センター

品　　目

水稲

取組の内容

生産

○環境負荷低減の取組（殺虫剤使用量の削減）

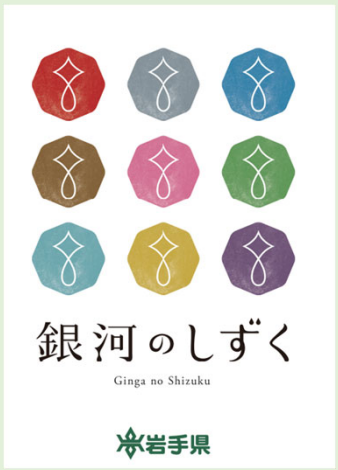
アカスジカスミカメ

割れ籾と斑点米

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		■	■	■	■	■	■					

本事業を活用して検証した結果、以下のことが分かった。
○「銀河のしずく」は慣行品種「あきたこまち」と比較して、斑点米の発生率を約30%まで抑制できる。
○「銀河のしずく」を導入し、斑点米カメムシ類の防除を2回から1回に減らしても、斑点米平均混入率が0.04%であり、1等米基準を確保している（２等米落要等基準0.1%）。

品種選定



普及に向けた取組

○岩手県農業研究センターが実証結果を取りまとめマニュアルを作成。革新支援専門員や各農業改良普及センターの協力を得ながら、マニュアルを活用して生産現場に技術導入を図る。
○本技術導入地域については、県央部を中心とした「銀河のしずく」の栽培地域とする。

問い合わせ先　岩手県農林水産部農業普及技術課　TEL：019-629-5656